

ヒヤリハット安全指数

94 / 100

良好

基礎反応20% + 判断反応30% + 判断正確性10% + 注意分配40%で算出。

前回比

+22点

改善傾向

定期測定で改善推移を確認します。

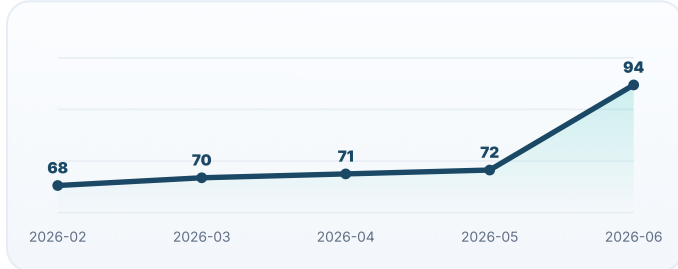
要フォロー人数

19名

注意+要注意

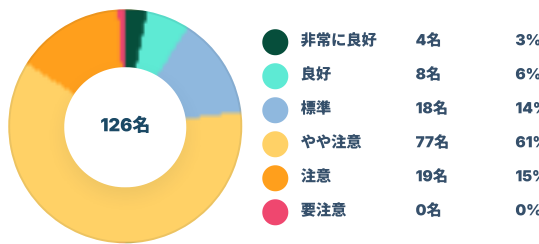
判定分布CSVから自動集計します。

ヒヤリハット安全指数推移

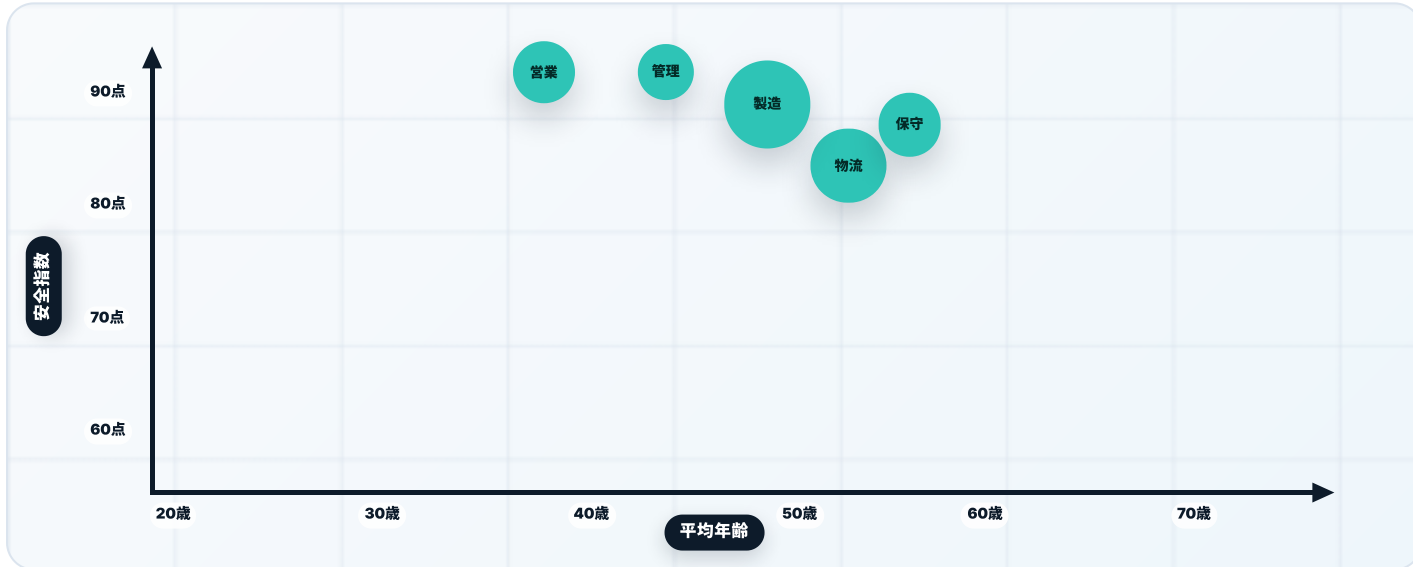


● 自社平均 ヒヤリハット安全指数の改善・悪化を確認

判定分布



部署ポジション比較



横軸＝平均年齢、縦軸＝ヒヤリハット安全指数、円の大きさ＝部署人数、色＝判定。

リスク要因別点数



REACTION ヒヤリハット安全指数

基礎反応・判断反応・判断正確性・注意分配から算出した事故発生リスク指標です。

※本レポートは人事評価や処遇判断を目的とするものではありません。安全教育・作業設計・健康経営施策の参考情報として利用してください。

部署別全体スコア

部署	人数	平均年齢	安全指数	判定
物流	32	53	88	良好
製造	45	49	94	良好
営業	18	38	98	非常に良好
管理	12	44	99	非常に良好
保守	19	56	92	良好

部署別リスク要因ヒートマップ

部署	基礎反応 Standard	判断反応 Find	判断正確性 Accuracy	注意分配 Memory
物流	100	92	57	86
製造	100	100	62	94
営業	100	100	82	100
管理	100	100	91	100
保守	100	100	61	90

全体＋能力別フォロー優先者

総合安全指数

1	ID-001	42
2	ID-002	45
3	ID-003	47

Standard

1	ID-004	38
2	ID-005	40
3	ID-006	42

Find

1	ID-007	41
2	ID-008	44
3	ID-009	46

Accuracy

1	ID-010	45
2	ID-011	48
3	ID-012	50

Memory

1	ID-013	43
2	ID-014	45
3	ID-015	47

管理者向け示唆

全体傾向

第1リスク要因：判断正確性 68点。全社では判断正確性が低く、急いだ場面で誤判断や確認ミスが発生しやすい状態です。第2リスク要因：注意分配 92点。全社では注意分配が低く、ながら作業や複数作業時の確認漏れリスクが高い状態です。

優先対応部署

物流（SafeScore 88）

推奨施策

第1施策：ダブルチェック・声出し確認・確認手順の標準化。第2施策：指差し呼称・作業前確認・ながら作業削減の徹底。

期待効果

判断ミスや操作ミス起因の事故低減が期待されます。また、確認漏れや伝達漏れ起因のヒヤリハット低減が期待されます。

氏名ではなく社員ID・匿名コードでの運用を推奨します。